SANJO ROTARY CLUB
三条ロータリークラブ 週報 No.37
2025.5.14(No.3242)

ロータリーはステージ・
みんなが輝く!

第2560地区ガバナー／南 雲 博 文
会　　長／渡 辺 良 一
会長エレクト／柳 取 崇 之(クラブ奉仕A)
副 会 長／西 山 徳 芳
幹　　事／船 越 良 則
S　A　A／落 合 孝 夫
会　　計／小 林 吾 郎
直 前 会 長／吉 井 直 樹
会長ノミニー／小 林 吾 郎(クラブ奉仕B)

例会日／毎週水曜日12:30～
例会場及び事務局／
三条市旭町2-5-10　三条信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477　FAX 32-7095
E-mail:sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
https://www.sanjorotary.site

■本日の出席会員数:56名中41名
■先々週出席率:87.50%

【ビジター】
・米山記念奨学生　胡湘榕さん

【先週のメークアップ】
［4.24］三条東RCへ
・荻根澤隆雄さん、白鳥　賢さん
［4.26］地区研修・協議会(新潟)へ
・柳取崇之さん、　早川滝徳さん、
・小林吾郎さん、　安達俊明さん、
・杉山幸英さん、　成田秀雄さん、
・梨本次郎さん、　渡部　宏さん、
・高橋俊樹さん、　白鳥　賢さん、
・外山浩玲さん、　嘉瀬一洋さん
［4.28］三条南RCへ
・丸山行彦さん、　斎藤弘文さん、
・松永隆夫さん、　中村和彦さん
［5. 1］加茂RCへ
・田久保良さん
［5. 1］三条RACへ
・渡部　宏さん
［5. 8］第2回ビギナーラーニング準備会議(長岡)へ
・関川　博さん
［5. 8］三条東RCへ
・斎藤弘文さん、　小越憲泰さん、
・中村友昭さん、　小林吾郎さん、
・白鳥　賢さん、　田久保良さん、
・荻根澤隆雄さん、中村和彦さん
［5.11］ロータリー防減災セミナー(長岡)へ
・松永隆夫さん

ロータリーのマジック
2024～2025年度
国際ロータリーのテーマ

「アワガタケスミレ」

会長挨拶

渡辺良一 会長

皆さんこんにちは。４月23日以来、久々の例会になります。

本日の話題をお話いたします。

今日も大切な先輩ロータリアンと私との思い出をお話いたします。

その方は全国に名を馳せる、新潟を代表する経済界の重鎮でした。ロータリーの例会ではそんなそぶりは微塵も見せることがなく、とても穏やかな方でした。

ロータリーの例会をとても楽しんでいました。驚いたことに例会では人にお茶を淹れたりしていました。ある時、卓話の依頼をされたのですが、「僕はね、例会をとても楽しみにしているんだ、だから卓話は勘弁してくれるかい…」とお話になっていました。

１年中スーツ・ネクタイの姿を崩すことがありませんでした。

ある暑い夏の日、お迎えの車を帰し歩いて自宅に向かっていました。

本当に暑い日だったので、大きなお世話と言われるかもし

れないと思いつつも「私の車に乗って行かれますか？」と声をかけたところ。「あッ、助かった！乗せてください」と思いのほか喜んでいただいたことがありました。

そんなことが何回かあり、商工会議所の新年会の折、あれだけの大物故その方のテーブルに誰もいなくなり、お一人で食事をされていました。“これはまずい！しばらくしたらロータリーの先輩が来るだろう”と思い「お疲れ様です」と言ってテーブルに向かいました。案の定、10分ほどしてロータリーの名誉会員の先輩がお越しになりました。その時、驚いたことにその方が私を名誉会員の方に紹介したのです。

私の名前を憶えていただいたこと、紹介されたこと。なんだか、とても嬉しくなってしまったことを覚えています。

その方からロータリーを心から楽しむことを教えていただきました。

捧賢一さん　５月８日が御命日です。

忘れてはいけない尊敬するロータリアンのお話をいたしました。

幹事報告

船越良則 幹事

◎2025年5月のロータリーレートは、1ドル142円です。
◎南雲ガバナー事務所より
「ガバナー月信 5月号発行のお知らせ」
◎室賀ガバナーエレクト事務所より
「2025-26年度 地区研修・協議会の御礼」
◎三条ローターアクトクラブより
「5月第二例会のご案内」
日　時　5月29日（木）　19：30～
会　場　リサーチコア 4階・異業種交流室

ニコニコBOX

渡辺良一会長
久々の例会です。残り少なくなってきました。
最後までよろしくお願いいたします。
地区協報告よろしくお願いいたします。

斎藤弘文さん
明日は三条八幡宮の春季大祭・大名行列です。
吉井祭典委員長ご苦労様です。

吉井直樹さん
本日より、いよいよ三条祭りがはじまります。
天気が良さそうでなによりです。皆様お世話になります。
本日地区協報告よろしくお願いいたします。

早川滝徳さん
三条祭りおめでとうございます。来週の卓話は吉井さんから三条祭りの内容でお話いただきます。
楽しみにしてください。

菊池　渉さん
誕生月です。誕生日の当日、家内が「73歳、うれしくないでしょう」ですって。うれしくはないけれど、面と向かって言われると返答がありませんでした。

西山徳芳さん
梅雨前のベストシーズン、五泉の東公園へボタンを見てきました。赤ちゃんの顔ほどの大きな花で感動しました。

荻根澤隆雄さん
いよいよ春季例大祭ですね。天候にも恵まれそうで、楽しみにしております。関係各位の皆様ご苦労様です。

嘉瀬一洋さん
ANAクラウンにて開催されました地区研修・協議会に参加してきました。本日は報告させていただきます。

渡部　宏さん
地区協参加の皆様お疲れ様でした。

五十嵐晋三さん
柳取さん地区協報告ご苦労様です。
三条祭りです。天候に恵まれますよう。

松永一義さん
暑い祭りになりそうです。今日は宵宮、子供が喜ぶでしょう。

佐野勝榮さん
これから夏がやって来ます。熱中症に注意しましょう！

杉山幸英さん
5月15日の三条祭りの天気は良いようです。よかったです。
地区協報告ご苦労様です。

落合孝夫さん
　祝・三条祭り
長谷川正実さん
　今日もよろしくお願いします。

石倉政雄さん、 清水泰生さん、 松永隆夫さん、
石橋育於さん、 小越憲泰さん、 船越良則さん、
柳取崇之さん、 近藤雄介さん、 関川　博さん、
歸山　肇さん、 安達俊明さん、 小林卓哉さん、
飯塚一樹さん、 野崎喜一郎さん、 齊藤真澄さん、
丸山行彦さん

地区研修・協議会ご参加の皆様お疲れ様でした。
本日ご報告の皆様よろしくお願いいたします。

5月14日分	￥　31,000
今年度累計	￥1,164,000

地区研修・協議会報告

柳取崇之 会長エレクト

4月26日に開催されました地区研修・協議会の報告をさせて頂きます。

当日は10時から地区研修・協議会実行委員長の開会宣言、室賀ガバナーエレクトの点鐘で始まりました。午前の部はPETSと重複しますが、RI会長方針と室賀ガバナーエレクト地区運営方針を説明され、その後、高橋地区ラーニングファシリテーターの講演が行われました。午後からは各セッションに分かれて、それぞれのテーマで開催されました。

RI会長方針「不可欠な3つの柱」

①革新…変化するこの世界に私たちが適応する手段。
②継続性…前年度の活動を中断することなく継続させロータリー活動を発展させる。(画一性ではなく連携)
③パートナーシップ…事業者団体、専門職団体、学術機関などと協力し職業や考え方の多様性を取り入れ、入会への関心を高めクラブの活性化を図る。

室賀ガバナーエレクト地区運営方針「ロータリーで善の循環を」

①「3 year rolling goals」クラブ戦略3年計画の2年目…行動計画、戦略計画の徹底
②公共イメージの向上…一般の人々にロータリーの活動を広く知って頂くこと。
③パートナーシップの拡大…ロータリーファミリーの裾野を広げ、各関係団体と手を取り合い、奉仕活動を展開する。

これらの全ては会員拡大を意味する。全てのメンバーが手を取り合いロータリーの発展を成し遂げよう！

高橋ラーニングファシリテーター「クラブの活性化について」

①より大きなインパクトをもたらす
②参加者の基盤を広げる
③参加者の積極的なかかわりを促す
④適応力を高める

午後の部

第一セッション

①室賀ガバナーエレクト次年度活動方針説明

②次年度地区予算についての説明

小川地区財務委員（室賀年度）

③次年度地区予算承認の件

全ての出席者により承認

④ロータリー地域共同ネットワークセンター活動について

大宮一真センター長

使命…地区内54クラブとのネットワークを生かし、地区に情報を集約し、必要な被災地に必要な「ヒト、モノ、カネ、情報」を届けること。（胎内地区での水害、能登半島地震）

基本方針

○危機管理意識の啓発事業

○活動を通じ地域に貢献

○当センターの地区内に於ける存在意義の再確認

三条クラブでは松永隆夫会員が連絡員として登録

⑤国際共同委員会について（ICC：Intercountry Committee）設立に向けて（ウクライナ復興支援支援の為にICC設立を目指す）

2国間の国際奉仕活動は従来グローバル補助金が使われています。

今、ウクライナ支援を考えた場合、従来方式でも可能ですが、国土、産業、経済の立て直しには今後長い年月の復興が必要になると言う事です。そこで国際共同委員会を設立し、我々ロータリーのできる支援は小さなことではありますが、日本全体のロータリアンが国際共同委員会という形で日本全体が一緒になってウクライナ復興を真摯に考えている姿勢がウクライナロータリアン及びウクライナ国民の精神的支えになるものと信じます。

国際共同委員会とは

国際ロータリーは、国際共同委員会を複数の地区の活動および組織を認めていますが、国際共同委員会は国際ロータリーの組織機関ではありません。現在、世界中に600を超える国際共同委員会があります。そして、その活動は主に「平和の促進」重点分野に沿っています。

国際共同委員会　使命　目的　活動

● 使命

異文化認識を向上させ、多様性を取り込み。コミュニティの懸け橋となる一方で、平和と国際理解を促進する事です。

● 目的と活動

2つ以上の異なる国の人々を結び付け。ロータリアンとローターアクターが互いの国や家庭を訪問するよう奨励することで、国際理解と親善を高めることにあります。

最後に国際共同委員会に参加か否かの決議があり、41／54の賛成で可決承認されました。

国際共同委員会の参加の承認が決定致しましたが、まだ内容的なものが見えてきていませんので、ガバナー公式訪問の際に説明を頂く事と致します。

早川滝徳 次年度幹事

4月26日にANAクラウンプラザホテル新潟で行われました、2560地区　2025-26年度の地区研修・協議会の報告をさせていただきます。参加者は2025-26年度での柳取会長、小林吾郎会長エレクト、安達職業奉仕委員長、社会奉仕委員長代理の杉山さん、成田国際奉仕委員長、梨本青少年奉仕委員長、渡部ロータリー財団委員長、高橋俊樹米山記念奨学委員長、地区役員の青少年交換委員会副委員長の外山さん、ロータリー財団委員会補助金委員会委員の嘉瀬さん、入会3年未満の新会員枠の白鳥さん、そして幹事の早川の12名でした。三条市内4クラブは今回のような市外での会がある時は合同でバスがでます。今回は三条東クラブさんが幹事年でバスの手配など行っていただきました。

午前中の全体会議、講演、各担当にわかれてのセッションは他の皆さんの報告の通りです。その後懇親会に移るわけですがアトラクションとして新潟県内で幅広く活動している「えのくみバンド」のJAZZライブから始まり、室賀ガバナーエレクトの乾杯で盛大に行われました。500人を超える参加者で先ほどのアトラクションの「えのくみバンド」が今度はポップスを披露しての懇親会は熱気に包まれていました。三条クラブのメンバー同士、また他のクラブの方々とも話が弾み大変有意義な交流ができた時間でした。

安達俊明
次年度職業奉仕委員長

去る4月26日新潟市で開催された地区研修、協議会について報告させて頂きます。

私は入会させて頂いて未だそんなに長くないので、600人以上おられたと思いますが、こんな大きな会は初めてでしたのでびっくりしたというのが本音です。

午前中の全体会議は物珍しさから何となくあちこち見たりしながら聞いておりましたが、午後の委員会ごとの集まりでは私の担当であります職業奉仕委員会は新津ロータリーの方が委員長で説明されました。

その中で私が緊張したのはロータリーの根幹は職業奉仕だと、それは「ロータリーの目的」の4項目中の第2、第3に掲げられています。この話を聞いたら、この後の懇親会で酒を飲んでも忘れないよう直ぐにメモしました。

私自身も「建築設計」という職業から様々な業種の経営者の方とお会いしますが、お話しをしていますと取引先及び従業員との信頼関係が職業奉仕の原点であるとよく聞きます。

この事を次年度委員長として忘れないよう努めてまいりますので会員の皆様のご協力よろしくお願いします。

ありがとうございました。

梨本次郎
次年度青少年奉仕委員長

来年度、青少年奉仕・ローターアクト並びにライラ委員会の委員長を拝命いたしました、梨本次郎です。

先日行われました国際ロータリー第2560地区2025-26年度地区研修・協議会の第4セッションについて、ご報告申し上げます。

来年度の第2560地区の青少年奉仕委員会は、青少年奉仕委員会を筆頭に、インターアクト委員会、ライラ委員会、青少年交換委員会、ローターアクト委員会の小委員会が設置されています。

まず、高田東RCの清水信博青少年奉仕委員長からは、室賀年度は特にローターアクト委員会に力を入れ、将来のロータリアンを育成するべく会員増強に注力していくとの説明がありました。

次に、長岡RCの松原幸人インターアクト委員長から、インターアクト委員会の活動について説明がありました。インターアクト委員会は、高校生主体の奉仕クラブ（インターアクトクラブ）を支援・育成する役割を担っており、インターアクター自身のリーダーシップ育成と次世代のロータリアン候補としての成長を後押ししています。毎年県内で年次大会が開催され、次年度は長岡工業高校が主催校となります。また、第3490地区（三重県）を窓口として、第2840地区（群馬県）と連携し、台湾との国際交流事業も計画しているとのことです。この事業はコロナ禍で休止していましたが、来年度から再開予定で、台湾・日本相互の約3泊のホームステイを伴う交換留学を、三重・群馬・新潟の持ち回りで隔年開催し、毎年20名程度が参加しているそうです。

小千谷RCの廣井充ライラ委員長からは、ライラ委員会の活動について説明がありました。ライラ委員会は、18歳から30歳までの若者向けリーダーシップ育成プログラムを企画・運営しており、来年度は小千谷RCを中心に、雪をテーマとした1泊2日の研修会を実施予定です。対象者は例年、県内ロータリアンの家族や事業所の従業員が多いですが、特に参加制限はないとのことでした。

糸魚川中央RCの神谷勇一青少年交換委員長からは、青少年交換委員会の活動について説明がありました。青少年交換委員会は、高校生対象の国際的な交換留学プログラムを企画・運営しており、1か月程度の短期留学と10か月にわたる長期留学があります。近年、この事業に参加するクラブが減少しているとの報告があり、また参加者からは「県内の高校に情報が十分周知されておらず、情報を知る人だけが参加できる状況だ」という問題提起もなされました。

最後に、長岡東RCの近藤正明ローターアクト委員長から、ローターアクト委員会の活動について説明がありました。現在、新潟県内には9クラブ・総勢74名のローターアクトクラブがあり、各クラブが健全に運営されるよう助言・サポートを行い、特に会員増強に注力しているとのことです。来年度は新潟RACの高橋さんが2560地区ローターアクトの地区代表、三条RACの笠原さんが地区幹事を務める予定です。

ローターアクトについては、三条クラブがスポンサーを務めているためよく知っていましたが、インターアクト、ライラ、青少年交換事業についてはこれまで関わる機会がなく、ほとんど知りませんでした。

県内のクラブが若者の人材育成や国際理解を深めるための活動を行っていることは、大変すばらしいと感じました。こうした若者たちが将来リーダーとなり、地域の未来を担い、やがてロータリアンとなって循環していくというプログラムは、非常に意義深いものだと思います。一方で、ロータリーそのものが会員減少によって活動予算も減少している中、過去と同じ

規模の活動を続けることは、持続可能性の面で課題があるのではないかとも感じました。また、米山記念奨学制度と異なり、基金が存在しないため、活動資金が各年度のホストクラブの予算に依存し、クラブの人的資源に大きく頼らざるを得ない状況は、継続的な運営の難しさにつながっていると感じました。

渡部　宏
次年度ロータリー財団委員長

当日午後から行われましたロータリー財団委員会のセッションについて報告いたします。

まず地区の財団委員長である高尾パストガバナーのあいさつと趣旨説明から始まり、続いて副委員長からさらに詳しく財団の説明がありました。

まずロータリー財団とは何かと申しますと「世界でよいことをしよう」というスローガンのもと善意、教育、地域経済の発展、環境保護、貧困をなくすことを通じて世界理解、親善、平和構築を達成できるようにすることを目標にしており1917年にアーチクランフにより提案され基金として発足し1928年にロータリー財団と名付けられました。

地区委員会の次年度の基本方針は5項目ありまして

1. 地区補助金申請・報告を簡素化する為、新たなシステムの運用開始
2. ポリオ根絶に向け地区大会やポリオデイを通して啓発活動を行う
3. 地区冠名基金の設立
4. ロータリーカードの加入促進
5. 地区の他委員会との連携

以上となります。

その他色々な解説が終わった後、テーブルごとにディスカッションを行い、班ごとに今後の課題や質問事項などの発表がありその中では申請の煩雑さや一年前の申請が早すぎるなど数多くの意見がありました。

私は財団の事は勉強不足でわからないことだらけではありましたが寄付の必要性や地区補助金やグローバル補助金、ベネファクターやポールハリスフェロー、ポリオプラスソサエティなどの認証についてなど様々なことについて教えていただき少しではありますが財団について理解ができたと思います。

当クラブも財団を利用して様々なプロジェクトをやっていければと思います。

嘉瀬一洋
次年度地区ロータリー財団委員会 委員

次年度地区財団委員会の委員として参加致しました。

会場に到着して三条RCのメンバー席に座ろうとしましたら、「地区の役員席は最前列だよ」と言われまして地区出向という大役を改めて再認識させられました。

ロータリー財団とは「世界でよいことをしよう」というスローガンをもとに世界で活動しているわけですが、財団委員会のセッション会議では「DDFについて議論」がありましたが、DDF（District Designated Fund）とは何であるのかも全く理解していない自分でした。（汗）

セッション会議に参加されたメンバーの方達にお聞きする中で、世界の人たちにポリオを通じて貢献してきたＲＩの活動の如く、地域の人たちにロータリーを広く理解してもらう為にも、制度として確立されたDDF（地区財団活動資金）を活用して地域社会への活動を遂行していくことは有益だと思いました。寄付金は3年後に活用可能というシステム、DDFは、地区補助金（DG）、グローバル補助金（GG）と2種類に分かれるなど、財団を理解するには時間がかかりそうです。

地区の補助金申請については、時代の流れに合わせて今年度からシステム化され、申請書の作成、修正、承認のプロセスもクラウド化で簡易になり、今後の各クラブでの申請も効率化されました。が、時代の流れとは言えＰＣスキルがある程度必要とされる申請システムは、年齢を重ねたメンバーの方達には荷が重い作業であることも事実です。ロータリーも時代に合わせてＤＸ化していく流れを目の当たりにする機会でもありました。

今回のセッション会議では分からないことだらけでしたし、DDF活用を申請するには面倒な仕組み、システムだなというのが実感であります。が今回の参加を通じて財団委員会のシステムを活用した審査のやり方を覚えなければならないと覚悟も決まりました。また、経験年数を問わず担当を決めて、10月以降には財団委員会メンバーが各クラブにおいて財団についてのセミナーを行うという事です。（大汗）

「財団ハンドブック」なるものがあると聞きましたので一生懸命に勉強してみます。たくさんの気づきを頂いた地区研修・協議会でした。

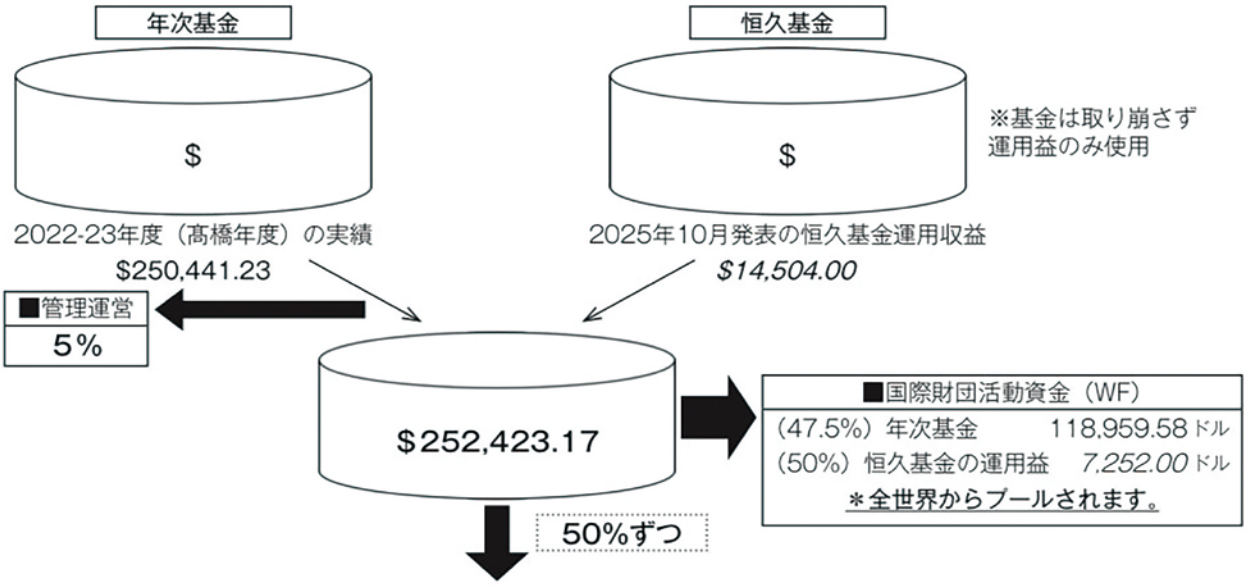
地区ロータリー財団の寄付金について　（2025-26年度　　室賀年度）

「室賀年度の寄付目標」

- ■ 年次基金　１人150ドル×会員数（2,034人推測）総額305,100ドル～
- ■ 恒久基金　ベネファクター　1,000ドル × 10名以上　総額10,000ドル～
- ■ 使途指定寄付（ポリオプラス）１人30ドル × 会員数（2,034人推測）総額61,020ドル～
- ■ ポール・ハリス・フェロー（新規認証者　54名以上）
- ■ ポール・ハリス・ソサエティ（新規認証者　10名以上）

RID2560の寄付金の種類と行方　　（2025-26年度　　室賀年度）

【寄付の種類】



【寄付の行方】 2025-26年度で利用できる

■地区財団活動資金（DDF）

（47.5%）年次基金	118,959.58 ドル	前年度未使用金	134.52 ドル
（50%）恒久基金の運用益	7,252.00 ドル	前年度DG未使用金	ドル
今年度地区配分可能 DDF 計	① 126,211.58 ドル	前年度未使用額 計	② 134.52 ドル

今年度DDF総額 ① ＋ ② ＝ ③126,346.10 ドル

地区補助金(DG)使用可能額①×50%≒④63,106.00 ドル

GG、寄贈使用可能額 ③ － ④ ＝ 63,240.10 ドル

地区補助金（DG）使用額（①の半分まで）	
1・地区奉仕プロジェクト	51,920.00 ドル
2・第2560地区奨学金	ドル
3・補助金管理セミナー、奨学生選考会･オリエンテーション会場費	4,000.00 ドル
4・管理運営費、その他	7,186.00 ドル
5・職業研修チーム派遣（VTT）	ドル

※1　室賀年度の申請はまだありません。

グローバル補助金（GG）※1	
1・人道的プロジェクト	13,000.00 ドル
2・財団奨学金	20,000.00 ドル
3・職業研修チーム派遣（VTT）	0.00 ドル

寄　贈	
1・ロータリー平和センター寄贈	10,000.00 ドル
2・ポリオプラス寄贈	20,000.00 ドル
3・ロータリー災害救援基金	0.00 ドル
4・他地区に寄贈	0.00 ドル

次年度繰越額	240.10 ドル

注意事項

- 各クラブは３年前の年次基金寄付（シェア）実績の25%までを地区補助金として申請できます。
- 恒久基金の運用収益は年度開始後10月ごろ発表されます。
- グローバル補助金は$30,000以上のプロジェクトで、寄贈したDDFの80%がWFから支給されます。
- 未使用金は次年度のDDFに繰り越されますが地区補助金配分計算の対象外となります。
- 未使用の地区財団活動資金（DDF）の繰越しは５年間に制限されました。
- 地区は地区補助金申請額から管理運営費に補助金資金の３%以内、臨時費は20%以内を配分できます。
- このタンク表は随時実情に合わせて更新しております。

2025.3.21現在

「ゴルフ同好会 第98回大会報告」

◆開 催 日／4月24日(木)　◆大会場所／湯田上カントリークラブ

≪成績表≫

優　勝　小林 吾郎 さん
準優勝　相場 弘介 さん
準優勝　中村 和彦 さん
第４位　野崎 喜一郎 さん
第５位　渡辺 良一 さん
第６位　杉山 幸英 さん
第７位　丸山 行彦 さん

ロータリー米山記念奨学会より、齊藤真澄 会員へ「第2回米山功労者マルチプル感謝状」が授与されました。

次 週 例 会	５月28日	「外部卓話」 ㈱相場紙器製作所 代表取締役　相場　浩 様
次々週例会	６月　４日	「クラブフォーラム」 柳取崇之 会長エレクト